

大会宣言（案）

NTT資本は、3年前企業の危機を訴え雇用替と賃下げを強行しました。多くの仲間が苦渋の選択をし、生活悪化に耐えてきました。また、本年9月にステップ2とする合理化計画を発表し来年7月実施に向け強行しようとしています。今年の9月の中間決算報告によると、NTTグループの減収が続く中で、来年3月見込みの年間を通しては、営業減益となる一方、6700億円の純利益となる見込みと発表されています。正にNTTグループで働く労働者の貢献と、犠牲のうえで成り立っている利益と言えます。今回の提案はまたぞろ、経営の無策についてはメスをいれず、コスト削減の合理化を優先実施で、労働条件低下につながることに必至です。この底なしの不況と合理化がどれほど多くの働く仲間を苦しめているのか計り知れません。私達は、各OS会社統合及び業務内容拡大で、労働強化を強いる極めて悪質な攻撃に強く抗議する。

企業年金改悪の同意確認行為が現在展開されています。サービス千葉社においては、担当課長が、受給権者の社員に対して同意書の返送をしたかという問いかげを職制という立場を利用して介入してきている事について我々は強く抗議する。

国際平和の名のもとにイラクに戦争をしかけているアメリカに対して、そして平和憲法を掲げながら自衛隊をイラクに駐留し続ける事で、暴走するアメリカに追従している日本政府の動きに対して我々は強く抗議する。

1986年前後にJRに採用になりたかったら国労を抜ける、労使協調に意識を変えろと攻撃が展開され正に上命・下服を徹底させた行為に対して不当労働行為責任をとらせる裁判が今秋山場を迎えています。国鉄闘争・鉄建公団訴訟原告団とその家族をいまこそ物心両面から支えよう。資本・政府の正に弾圧ともいえるやり得を許さない闘いの全国統一闘争を通して、改憲阻止、労働運動再建に向けて共に闘い続けることを決議する。

2004年11日13日
東日本NTT関連合同労働組合
千葉支部第3回大会